

# 浜の活力再生プラン

## 令和6～10年度

### (第3期)

#### 1 地域水産業再生委員会

組織名	八代市鏡町地区地域水産業再生委員会
代表者名	徳田 司 (鏡町漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	鏡町漁業協同組合 熊本県八代市役所水産林務課 熊本県県南広域本部水産課
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	八代市 (鏡町漁業協同組合の定款で定める地区) 漁船漁業 (48名)、採貝漁業 (54名) カキ養殖業 (6名) (令和5年4月1日現在)
-----------------------	---

#### 2 地域の現状

##### (1) 関連する水産業を取り巻く状況

八代市鏡町地区周辺海域は、八代市の湾奥に位置しており、延縄・流し網・小型定置網等の漁船漁業、干潟を利用したアサリ・ハマグリ等の採貝漁業、カキ養殖業が行われている。

地域の漁業の現状は、漁船漁業では、温暖化や海域環境の悪化等で年々漁獲量が減少している。

採貝漁業では、アサリが平成23年の豪雨により全滅状態となり、アサリ復活に組合員一同努めているが、ナルトビエイ・チヌ・カモ等の食害を受け、その被害は深刻である。しかしながら、アサリ保護のために被覆網や囲い網を設置し、平成29年から水揚げがあり、平成30年度の水揚げ高は33.7トン・金額1,490万円、令和元年度15.8トン754万円、令和2年度8.5トン409万円、令和3年度4.2トン215万円、令和4年度1.7トン112万円となっている。この近年の水揚げ量の減少は、令和2年の熊本豪雨の影響によるものと思われる。

一方、新たな収入源として、平成25年度から始めたマガキ養殖は、ブランドカキ『鏡オイスター』として好評を得ているが、歩留まりの向上や販路拡大等の課題がある。

近年は、高齢化による組合員の減少、新規担い手不足により、漁業経営及び漁業協同組合経営の悪化が懸念されるため、令和5年4月1日、隣接する千丁漁業協同組合と対等合併した。

##### (2) その他の関連する現状等

当地域は、農業・水産業の衰退、工業・商業の不振により、令和4年4月1日に過疎地域に指定された。

漁業については、高齢化に伴う後継者不足、新規就業者の確保が課題である。

また、交通アクセスの利便性を利用した産直販売やインターネット等を活用した販路拡大を図ることが必要である。

### 3 活性化の取組方針

#### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1 漁業収入向上のための取組

(1) 魚価向上や高付加価値化

- ①鏡オイスターについては、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。
- ②魚については、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所での販売を目指す。

(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング

- ①販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。

(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大

- ①アサリについては、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。
- ②鏡オイスターについては、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販

路拡大のため積極的な営業活動を実施する。

- ③ハマグリ、その他魚種については、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。

#### (4) 海業による漁業者の収入の拡大

- ①アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。
- ②ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、漁業者の収入を増やす。

### 2 漁業コスト削減のための取組

#### (1) 省エネ活動等による省コスト化

- ①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃量の削減を図る。
- ②最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。

#### (2) 協業化などによる合理化

- ①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。

### 3 漁村の活性化のための取組

#### (1) 漁業人材育成確保

- ①新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。

#### (2) 地域人材育成・雇用確保

- ①市町村のUIターン支援策を活用し、都市定住の定年退職者の移住を促進する。

#### (3) 交流人口の拡充

- ①カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。

#### (4) その他の取組

- ①幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。
- ②鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進に努める。

### (3) 資源管理に係る取組

- ①操業隻数、機関等の規制遵守による資源へ与える負荷の抑制  
(漁業法、熊本県漁業調整規則、天草・不知火海区漁業調整委員会指示)
- ②熊本県知事が認定した資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施による資源保護（あさりに関する採貝漁業の資源管理協定）

- ③共同漁業権行使規則に基づく制限の徹底による資源管理
- ④鏡町漁業協同組合漁業権行使規則により、アサリ・ハマグリ等の漁業期間・区域・漁具漁法及び採捕サイズの制限に努める。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比） 3.49%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①カキ部会は、鏡オイスターについて、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。</li> <li>②漁業者は、魚について、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所での販売を目指す。</li> </ul> <p>(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①カキ部会は、販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。</li> </ul> <p>(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アサリ部会は、アサリについて、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。</li> <li>②カキ部会は、鏡オイスターについて、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販路拡大のため積極的な営業活動を実施する。</li> <li>③漁協は、ハマグリ、その他魚種について、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。</li> </ul> <p>(4) 海業により漁業者の収入の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①漁協は、アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。</li> <li>②漁協は、ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、漁業者の収入を増やす。</li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃費量の削減を図る。</li> <li>②漁協は、最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。</li> </ul> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。</li> </ul>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。</li> </ul>

	<p>(2) 地域人材育成・雇用確保</p> <p>①漁協は、市町村のU I ターン支援策を活用し、都市定住の定年退職者の移住を促進する。</p> <p>(3) 交流人口の拡充</p> <p>①漁協は、カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。</p> <p>(4) その他の取組</p> <p>①漁協は、幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。</p> <p>②漁協は、鏡町及び地域農協（J A 八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、P R 活動や販売促進に努める。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県産あさり資源回復事業（アサリ資源育成促進区域）（県）</li> <li>・ナルトビエイ駆除事業（県）</li> <li>・球磨川流域水産資源回復事業（県）</li> <li>・新たな稼げる養殖事業化促進事業（県）</li> <li>・八代市地域水産業活性化支援事業補助金（市）</li> </ul>

2 年目（令和 7 年度） 所得向上率（基準年比） 4. 7 7 %

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①カキ部会は、鏡オイスターについて、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。</p> <p>②漁業者は、魚について、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所での販売を目指す。</p> <p>(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング</p> <p>①カキ部会は、販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。</p> <p>(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大</p> <p>①アサリ部会は、アサリについて、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。</p> <p>②カキ部会は、鏡オイスターについて、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販路拡大のため積極的な営業活動を実施する。</p> <p>③漁協は、ハマグリ、その他魚種について、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(4) 海業により漁業者の収入の拡大</p> <p>①漁協は、アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。</p> <p>②漁協は、ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、</p>
--------------	--

	漁業者の収入を増やす。
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃費量の削減を図る。</p> <p>②漁協は、最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>①漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。</p> <p>(2) 地域人材育成・雇用確保</p> <p>①漁協は、市町村のU I ターン支援策を活用し、都市定住の定年退職者の移住を促進する。</p> <p>(3) 交流人口の拡充</p> <p>①漁協は、カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。</p> <p>(4) その他の取組</p> <p>①漁協は、幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。</p> <p>②漁協は、鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進に努める。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県産あさり資源回復事業（アサリ資源育成促進区域）（県）</li> <li>・ナルトビエイ駆除事業（県）</li> <li>・球磨川流域水産資源回復事業（県）</li> <li>・新たな稼げる養殖事業化促進事業（県）</li> <li>・八代市地域水産業活性化支援事業補助金（市）</li> </ul>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比） 6.07%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①カキ部会は、鏡オイスターについて、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。</p> <p>②漁業者は、魚について、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所での販売を目指す。</p> <p>(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング</p> <p>①カキ部会は、販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。</p>
--------------	---

	<p>(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大</p> <p>①アサリ部会は、アサリについて、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。</p> <p>②カキ部会は、鏡オイスターについて、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販路拡大のため積極的な営業活動を実施する。</p> <p>③漁協は、ハマグリ、その他魚種について、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(4) 海業により漁業者の収入の拡大</p> <p>①漁協は、アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。</p> <p>②漁協は、ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、漁業者の収入を増やす。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃費量の削減を図る。</p> <p>②漁協は、最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>①漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。</p> <p>(2) 地域人材育成・雇用確保</p> <p>①漁協は、市町村のU I ターン支援策を活用し、都市定住の定年退職者の移住を促進する。</p> <p>(3) 交流人口の拡充</p> <p>①漁協は、カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。</p> <p>(4) その他の取組</p> <p>①漁協は、幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。</p> <p>②漁協は、鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進に努める。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県産あさり資源回復事業（アサリ資源育成促進区域）（県）</li> <li>・ナルトビエイ駆除事業（県）</li> <li>・球磨川流域水産資源回復事業（県）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな稼げる養殖事業化促進事業（県）</li> <li>・八代市地域水産業活性化支援事業補助金（市）</li> </ul>
--	---

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比） 8.56%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①カキ部会は、鏡オイスターについて、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。</p> <p>②漁業者は、魚について、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所での販売を目指す。</p> <p>(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング</p> <p>①カキ部会は、販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。</p> <p>(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大</p> <p>①アサリ部会は、アサリについて、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。</p> <p>②カキ部会は、鏡オイスターについて、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販路拡大のため積極的な営業活動を実施する。</p> <p>③漁協は、ハマグリ、その他魚種について、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(4) 海業により漁業者の収入の拡大</p> <p>①漁協は、アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。</p> <p>②漁協は、ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、漁業者の収入を増やす。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃費量の削減を図る。</p> <p>②漁協は、最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>①漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。</p> <p>(2) 地域人材育成・雇用確保</p> <p>①漁協は、市町村のU I ターン支援策を活用し、都市定住の定年退</p>

	<p>職者の移住を促進する。</p> <p>(3) 交流人口の拡充</p> <p>①漁協は、カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。</p> <p>(4) その他の取組</p> <p>①漁協は、幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。</p> <p>②漁協は、鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進に努める。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県産あさり資源回復事業（アサリ資源育成促進区域）（県）</li> <li>・ナルトビエイ駆除事業（県）</li> <li>・球磨川流域水産資源回復事業（県）</li> <li>・新たな稼げる養殖事業化促進事業（県）</li> <li>・八代市地域水産業活性化支援事業補助金（市）</li> </ul>

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比） 12.54%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①カキ部会は、鏡オイスターについて、カキ小屋・直売所に加え、飲食店等への売り込みを図る。</p> <p>②漁業者は、魚について、活〆勉強会を実施し、漁業者の鮮度保持技術の向上を図り、また調理加工を行い直売所で販売する。</p> <p>(2) 新商品開発や販路拡大等による積極的なマーケティング</p> <p>①カキ部会は、販路拡大を図るため、HP・フェイスブック・プレスリリースを利用して最新情報を発信する。</p> <p>(3) 保護育成や栽培漁業による生産性の拡大</p> <p>①アサリ部会は、アサリについて、食害生物の駆除及び、アサリ保護のための被覆網や囲い網の新規場所への設置、既存場所の網の張替等のメンテナンスを行う。</p> <p>②カキ部会は、鏡オイスターについて、品質保持、ブランド維持に必要な衛生管理の徹底を図り、販路拡大のため積極的な営業活動を実施する。</p> <p>③漁協は、ハマグリ、その他魚種について、栽培漁業を推進し、主にハマグリ、ガザミ等の種苗放流に努め、資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(4) 海業により漁業者の収入の拡大</p> <p>①漁協は、アサリ・鏡オイスターを利用した観光漁業を推進する。</p> <p>②漁協は、ゴールデンウィークの期間中、アサリの潮干狩りを行い、漁業者の収入を増やす。</p>
漁業コスト削減の	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p>

ための取組	<p>①全ての漁業者は、最も燃費の良い速度で漁船を航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃費量の削減を図る。</p> <p>②漁協は、最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。</p> <p>(2) 協業化などによる合理化</p> <p>①地域の漁業者が連携協力して、漁業用資材や施設の共同利用を検討実施することにより、コスト削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>①漁協は、新規就業者の確保、若手漁業者の育成を推進するための漁業士の活動を支援する。</p> <p>(2) 地域人材育成・雇用確保</p> <p>①漁協は、市町村のU I ターン支援策を活用し、都市定住の定年退職者の移住を促進する。</p> <p>(3) 交流人口の拡充</p> <p>①漁協は、カキ小屋や潮干狩りを行い、都市住民との交流を図る。</p> <p>(4) その他の取組</p> <p>①漁協は、幼い時から海に親しむため、保育園児を潮干狩りに招待する。</p> <p>②漁協は、鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進に努める。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産多面的機能発揮対策事業（国）</li> <li>・県産あさり資源回復事業（アサリ資源育成促進区域）（県）</li> <li>・ナルトビエイ駆除事業（県）</li> <li>・球磨川流域水産資源回復事業（県）</li> <li>・新たな稼げる養殖事業化促進事業（県）</li> <li>・八代市地域水産業活性化支援事業補助金（市）</li> </ul>

(5) 関係機関との連携

<p>鏡町及び地域農協（JA八代）並びに鏡まちづくり協議会と連携し、PR活動や販売促進を行う。</p>
---

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

<p>①浜プランの取組の実施状況及び効果を自ら評価する。</p> <p>②評価に基づき、改善を検討するため、浜プラン評価検討委員会を開催し、その結果を再生委員会に報告・審議し決定する。</p> <p>③浜プラン評価検討委員会の構成委員は、事務局長1名・外部専門家2名・アサリ生産部会長1名・カキ生産部会長1名・担当者2名とし、再生委員会で決定し、会長が委嘱する。</p>
---

#### 4 目標

##### (1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

##### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

##### (3) 所得目標以外の成果目標

漁獲量の向上 アサリ	基準年	平成30年度～令和4年度直近3か年 アサリ漁獲量 4,852kg
	目標年	令和10年度 アサリ漁獲量 6,308kg

新規漁業就業者 数の増加	基準年	平成30年度～令和4年度平均 0.5人/年
	目標年	令和6年度～令和10年度累計 5人

##### (4) 上記の算出方法及び妥当性

<p>○所得向上の取組に係る成果目標（アサリ漁獲量の向上）</p> <p>当地区はアサリが主要漁獲物であるため、アサリの漁獲量向上を成果目標とした。また、令和2年豪雨災害により、アサリの漁獲量が激減したため、直近3か年平均を基準とした。当地区のアサリは被覆網や囲い網等を設置し、保護することで資源量の回復を図っている。今まで保護していなかった場所に新たに被覆網を設置し、保護することによって、最終年度に6トン強の漁獲量を目標とする。</p> <p>○漁村活性化の取組に係る成果目標（新規漁業就業者数の増加）</p> <p>過去5か年の新規漁業就業者数は、令和2年度1人、令和3年度1人、令和4年度1人</p>
--

と、年度平均0.5人となっている。令和6年度以降の目標として、主に都市から移住してきた定年退職者に対して漁協加入を促進することにより、今期プラン期間中、毎年度平均1人（5か年の累計5人）の新規漁業就業者の増員を図ることを目標とする。

## 5 関連施策

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係
水産多面的機能発揮 対策事業（国）	内容：漁業者が行う、水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する活動に対し、一定の費用を国が支援する。
県産あさり資源回復 事業（アサリ資源育成 促進区域）（県）	アサリの食害生物であるクロダイによる被害軽減のための対策を講じる。
ナルトビエイ駆除事 業（県）	アサリの食害生物であるナルトビエイによる被害軽減のための対策を講じる。
球磨川流域水産資源 回復事業（県）	豪雨によりアサリ資源の減耗が著しい球磨川流域海域において、アサリ母貝を管理育成するための活動。（県による委託）
新たな稼げる養殖事 業化促進事業（県）	県産マガキの天然採苗を行い、試験養殖を実施し、県産マガキの養殖生産体制の構築を図る。
八代市地域水産業活 性化支援事業補助金 （市）	漁家所得の向上を図るため、漁業者及び水産関連業者等が行う、八代産水産物の高付加価値化、6次産業化等に向けた取り組みを支援する。